

## 【目次】

1. アーカイブ No.1  
連載「日本労働会館物語」第 36 回 2012.04.16 発行の第 48 号に掲載
2. UA ゼンセン・マルエツ労働組合・教育情宣委員会 15 名が来館、受講・見学する
3. UA ゼンセン・ダイエーユニオン東日本・出向対策グループの中央執行委員 4 名が来館、受講・見学する
4. 2 月 17 日(金)臨時休館

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号より、アーカイブから可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

### 1. アーカイブ No.1

#### 連載「日本労働会館物語」第 36 回 2012.04.16 発行の第 48 号に掲載

＜労働運動の曙・労働組合期成会、労働運動の源流・友愛会＞

本連載は友愛会物語ではありませんので、友愛会に関する詳述は『労働運動 20 年』（鈴木文治著）、『暗い谷間の労働運動』（大河内一男著）、『評伝鈴木文治』（吉田千代著）、『鈴木文治のいる風景』（芳賀清明著）などに任せ、今回は友愛会と労働組合期成会の比較をしてみます。

労働組合期成会は高野房太郎や片山潜らが組織した労働組合を組織するための団体であり、明治 27 年に設立され、鉄工組合や印刷組合などを組織したことで知られ、日本労働運動に曙をもたらしたとされています。

しかし、労働組合期成会はその名称が示すように「期成の会」であり、労働組合そのものではありません。また、明治政府の過酷な弾圧もあり、結成後数年にして解散に追い込まれてしまい、その運動が継承されることはありませんでした。このため現在の連合（日本労働組合総連合会）に繋がる労働運動の源流とされているのが、友愛会です。いわば労働組合期成会は「日本労働運動の曙」であり、友愛会は「日本労働運動の源流」なのです。

ところで労働組合期成会と友愛会は類似点がいくつもあります。どちらも①穏健・合法、着実な漸進をめざし労働組合主義に立っていたこと、②アメリカ労働総同盟 AFL の影響が強かったこと、③有力者（社会政策学会メンバーなど）の支援があったこと、④キリスト教徒が運動を支えていたことなどです。また、期成会の活動拠点ともいべき神田青年館（東京 YMCA 会館）と、友愛会誕生の地ユニテリアン教会・惟一館を設計したのがジョサイア・コンドル（日本近代建築の父）で、共に明治 27（1884）年に建設されている点も興味深いところです。

期成会を組織した高野房太郎は AFL のオルグであり、社会政策学会の高野岩三郎（高野房太郎の弟）らが積極的に支援していました。また、期成会の一方の柱、片山潜はアメリカ帰りのキリスト教社会主義者。後に社会民主党と一緒に結成するクリスチャンの安部磯

雄、村井知至、西川光二郎、河上清らとパイプがあり、その縁で彼らは労働組合期成会を支えていました。

一方、友愛会を創立した鈴木文治も後に AFL のゴンパース会長の知遇を得て、友愛会の運営・活動に AFL 流を取り入れていますし、自身がユニテリアン教会のメンバーという立場から安部磯雄らクリスチャンの支援を得ています。また、高野岩三郎をはじめとする多くの社会政策学会メンバーが、評議員として友愛会と鈴木文治を支えていました。

このように労働組合期成会と友愛会は強い類似性を持ち、両者は血の繋がらない親戚みたいなものですが、結成後の運命は大きく分かれています。期成会は結成後、数年にして解散に追い込まれ労働運動史から消えていきますが、友愛会は順調に発展し、総同盟(戦前・戦後)を経て現在の連合へと繋がっていくのです。

## 2. 1月11日(水)UA ゼンセン・マルエツ労働組合・教育情宣委員会 15名来館

1月11日(水) UA ゼンセン・マルエツ労働組合の教育情宣委員会 15名が、講義「日本労働運動の100年余り」を受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を70分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦堀跡を見学し、記念撮影を行いました。

皆さんとっても熱心に受講し、細かく見学した様子でした。

## 3. 1月16日(月)UA ゼンセン・ダイエーユニオン東日本・出向対策グループの中央執行委員 4名来館

1月16日(月) UA ゼンセン・ダイエーユニオン東日本・出向者対策グループの中央執行委員4名が講義「日本労働運動の100年余り」を100分にわたり受講、後に友愛労働歴史館を見学。期成会の結成と4年での解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、大争議を含む戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を受講し、熱心に資料館を見学しました。中でも、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」と鈴木文治(人間性と職業能力の向上)・松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージなどに関心と興味を引いた様子でした。

## 4. 2月17日(金)は臨時休館です。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行: 友愛労働歴史館

責任者: 藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール [yuairedokishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairedokishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairedokishikan.com>

惟一館から128年、友愛会から110年